

『矢代幸雄』

共同通信配信 2022年3月9日（水）

2022年3月13日（日）『宮崎日日新聞』

2022年4月2日（土）『京都新聞』

京 都 府 柴 丹 閣
2022年(令和4年)4月2日 土曜日 読書 14

新刊の本棚

矢代幸雄

稲賀繁美 著

原三溪の元に滞在した詩聖タゴールの通訳を務め、欧州では松方幸次郎に従って晩年のモネを訪ねるなど松方コレクション形成にあずかった。その若き日から、美術研究所長を経て、大和文華館の初代館長を務めた後半生までをた

どる評伝。

ボッセイチェリ研究で知られた留学時代から帰国後は中国美術に開眼。さらには日本美術の特質を国際的な動向の中で再認識しようとした。美術による国際交流を促した国際派美術史家。さらながら日本の文化行政の歴史を読む気がする。

(ミネルヴァ書房・4950円)